

## 市販薬で副作用！！すぐに飲むのを止めて相談を

寒い日も続き、風邪などで体調を崩す人が多く見受けられます。薬局やドラッグストアなどで購入できる一般医薬品によって、「全身にじんましんが出た」「目や唇がただれるほど腫れ上がった」などの副作用が起きた事例が報告されています。なかには、死に至る又は後遺症が残るような重篤なケースもあります。

※医薬品を購入するときは、アレルギーの有無や副作用の経験、持病及び併用している薬を薬剤師や登録販売者に伝えましょう。

※医薬品を飲む前に説明書を読み、飲んで異常を感じたら、すぐに飲むのを止めて、医師や薬剤師にご相談ください。

※医薬品医療機器総合機構では医薬品や副作用被害の救済制度について問い合わせを受け付けています。

医薬品に関する相談 ☎03-3506-9457	月～金曜日（祝日、年末年始を除く） 午前9時～午後5時
医薬品副作用被害救済制度 ☎0120-149-931	

消費生活センターでは、消費生活に関わる相談を受け付けています。  
生活の中で、少しでも疑問や不安に感じる事があればご相談ください。

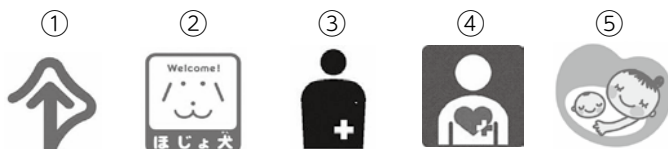
月～木曜日 午前10時～正午、午後1時～4時

## 人権それは愛

問合せ：教育文化振興課 ☎ 991-1873 / 企画財政課 ☎ 991-1815

## 身近で見るあのマーク(その2)

優しい社会を作るため一助になることを願い、先月号に続き、身近で見るマークを紹介します。



- ①耳マーク：聞こえが不自由なことを表す、国内で使用されているマークです。
- ②ほじょ犬マーク：身体障がい者補助犬同伴の啓発のためのマークです。身体障がい者補助犬とは、盲導犬、介助犬、聴導犬のことを言います。補助犬はペットではありません。体の不自由な方の、体の一部となって働く「パートナー」です。
- ③オストメイトマーク：人工肛門・人工膀胱を造設している人(オストメイト)のための設備があることを表しています。
- ④ハート・プラスマーク：「身体内部に障がいがある人」を表しています。身体内部(心臓、呼吸機能、じん臓、膀胱・直腸、小腸、肝臓、免疫機能)に障害がある方は外見からは分かりにくいということを心に留めておきましょう。
- ⑤マタニティマーク：妊婦さんが交通機関等を利用する際に身につけ、周囲に妊婦であることを示しやすくするものです。

広告